

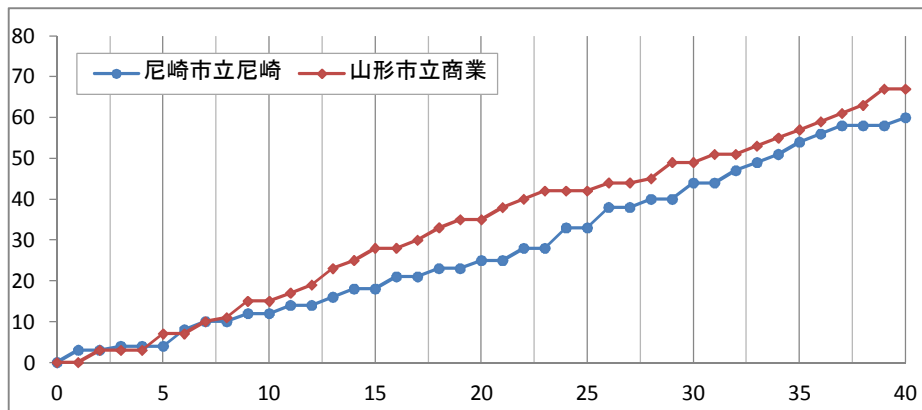
平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

女子 1回戦 **尼崎市立尼崎 60** **67** 山形市立商業

主審 井元 誠 (兵庫) ● ○ (山形)

副審 林田 誠

No. 29k4 日時: 2013年7月29日(月) 14:30 会場: 杵築市文化体育館



尼崎市立尼崎

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 新井 友菜 (C)	13	1	4	2	2
5	* 青山 愛理	1	0	0	1	2
6	岩本 夏菜	2	0	1	0	2
7	共田 菜々子	-	-	-	-	-
8	* 中村 えりな	3	1	0	0	0
9	* 間崎 菜々美	19	3	5	0	3
10	* 田中 友梨	8	0	4	0	0
11	岩田 香穂	0	0	0	0	0
12	加藤 菖	-	-	-	-	-
13	松崎 莉帆	0	0	0	0	1
14	井上 桃子	14	0	6	2	2
15	北川 日菜	-	-	-	-	-
コーチ	吉川 公明					
合計		60	5	20	5	12

山形市立商業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 吉田 園佳 (C)	17	0	8	1	4
5	遠藤 杏夏	5	0	2	1	0
6	* 桜庭 萌子	14	0	7	0	1
7	* 高田 静	22	4	5	0	0
8	* 福田 知穂	5	1	1	0	5
9	後藤 沙菜	4	0	2	0	0
10	滝口 理渚	0	0	0	0	0
11	* 飯岡 花玲	0	0	0	0	1
12	上枝 真依	0	0	0	0	0
13	上妻 陽和	-	-	-	-	-
14	熊沢 南美	-	-	-	-	-
15	浅利 千夏	-	-	-	-	-
コーチ	高橋 仁					
合計		67	5	25	2	11

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。序盤は互いに固さが見られロースコアの展開に。5分山形商業#7がペネトレイトで連続得点するとたまたま市立尼崎はタイムアウト。高さで勝る山形商業に対しディフェンスラインを自陣3Pラインまで下げ、インサイドDefの強化を図る。これが功を奏し、10-10の同点とする。しかし終盤再度山形商業が#9のバスケットカウントでつき離し、12-15山形リードで終了。第2ピリオド、山形商業が主導権をつかむ。#8のゲームメイクのもと、#7のドライブを中心に攻撃。#6#9#10などのリバウンドが攻守にわたり尼崎を圧倒し5分までに10点差に広げる。対する市立尼崎は#4を中心に流れるようなパスワークから#9#14などの得点で応戦。その後は一進一退の攻防で25-35で前半を終える。

第3ピリオド、序盤は山形ペース。厳しいDefでオーバータイムを奪うと、#4から#6#7へのアシストで連続得点し最大14点差をつける。しかし、5分過ぎから市立尼崎が反撃に転じる。Defをオールコートプレスに変更し、山形の攻撃リズムを狂わせ、徐々に点差を詰め、44-49の5点差で第3ピリオドを終える。

第4ピリオド、必死の挽回を図る市立尼崎が流れを呼び込む。#4の3Pで勢いに乗ると、#4を起点に#9#10へとパスが繋がわり、連続して得点し1点差にまで追上げる。対する山形商業は厳しいディフェンスで何とか耐えしのぎながら、勝負強い#4が3連続を含むこのピリオド10得点の活躍で逆転を許さない。再びペースをつかんだ山形商業は、#8の力強いペネトレイトで得点し、粘る市立尼崎をつき離し、60-67で逃げ切った。敗れはしたものの、最後まで高さのミスマッチに立ち向かい、ボールを追い続けた市立尼崎の健闘が光った。

記載者 江藤 慶 (所属) 大分県バスケットボール協会